



RK-3D 型

電動ろくろ

取扱説明書



据付、運転、保守・点検の前に、
必ずこの取扱説明書をよく読んで
正しくお使いください。

お使いになれる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報、注意事項のすべてについて熟読してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」および「注意」として区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。



危険

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

取扱いを誤った場合に、重症を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。



注意

取扱いを誤った場合に、軽症を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。

●免責事項について

- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・地震、当社に責任のない火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失による誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・保証規定については、付属の保証書をお読みください。

危険



作陶以外の目的で使用しない。

本機は作陶用ろくろとして、安全にご使用いただけるように設計されていますので、作陶以外での目的に使用しないでください。



自分で分解・修理・改造を行わない。

感電や発火したり異常動作してけがをすることがあります。



本機に、陶芸材料・機器以外を乗せない。

危険ですので、粘土などの陶芸材料等の作陶用機器以外を乗せないでください。



お子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。



本体の転倒や誤使用等によりけがをすることがあります。お子様がご使用になる際には、必ず保護者が監督してください。



アース線を接続する。

感電事故を避けるために、必ずアースをしてください。



付属部品などを口に入れない。

小さなお子様部品などを口に入れないようご注意ください。



ペースメーカー装着者は本製品を使用しない。

ペースメーカーに影響を及ぼす恐れがあります。



取っ手口や隙間にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない。

感電やけがをすることがあります。



素足で作陶しない。

感電やけがをすることがあります。

⚠ 警 告



**本製品は重いので
取扱には十分に注意する。**

誤まって足などの上に落下させると、重傷を負うおそれがありますので、取扱には十分に注意してください。



濡れた手で操作しない。

濡れた手でスイッチ操作やプラグの抜き差しをすると感電する恐れがあります。



**電源スイッチが ON の状態で
本体を持ち上げたり、動かさない。**

回転中のターンテーブルを持って上げると、本体が回転したり、手を挟んだりして危険です。また、電源スイッチが ON の状態であれば、誤ってターンテーブルを回転させることがあります。使用していないときは、電源を OFF にしてください。



**安全に配慮した着衣、格好で
作業する。**

作業前にマフラー、ネクタイ、スカーフ等は外し、長い髪は束ねる等してください。粘土やテーブルに巻込まれて負傷する恐れがあります。

⚠ 注 意



ターンテーブルを持って運ばない。

ターンテーブルが歪んだり、外れて負傷するおそれがあります。



**作業前には指輪など貴金属は
外す。また、伸びた爪は切る。**

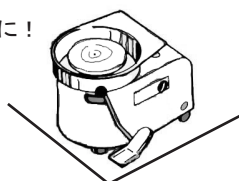
指輪や腕時計は外して作業してください。また、伸びた爪で作業しないでください。作品にキズがついたり、貴金属にキズがついたり、爪を折るおそれがあります。



**水平で安定したところに据
付ける。**

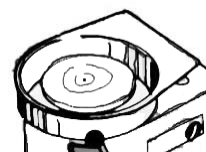
据付け状態が悪くと、振動や騒音が増大される恐れがあります。確実に据付けてください。

水平に！



**テーブル部と本体の間に物を置
いたり、手を入れない。**

手を詰めたり、挟まれるなど危険です。



**テレビ・ラジオ・アンテナ線等
に近づけない。**

画像の乱れ、雑音の原因となる場合があります。



カバー類を外さない。

カバー類を外すと、本体内部に手が入るなどの事故の危険があります。カバー類は外さないでください。なお、ペダル調整時にカバーを外した場合には、調整後にしっかりとカバーが取付けてあるか必ず確認してください。



ドベ受けに水を溜めない。

本体内部に水が入って、テーブル軸のベアリングが錆びたり、故障の原因になります。ドベ受けに溜まった水は、その都度、取り除いてください。



取っ手のゴムを外さない。

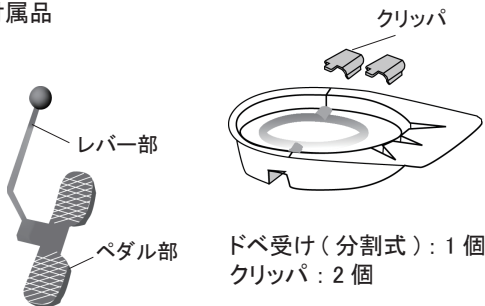
取っ手のゴムを外すと、本体内に手が入るなどの事故の恐れがあります。取っ手のゴムは外さないでください。また、万一、外れた場合には、しっかりと取り付けてください。

●ご使用になる前に

ご確認

★開梱時に本体の他に以下のものが梱包されているか、ご確認ください。

●付属品



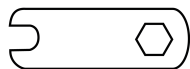
レバー付変速ペダル : 1個



●工具



Lスパナ : 1個
変速ペダルの取付け時に使用します。



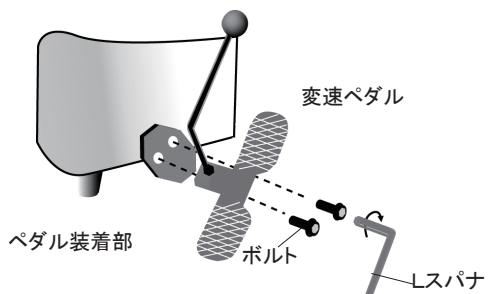
アシ用調整スパナ : 1個
高さ調整アシの調節時に使います。

各部の名称



準備

■変速ペダルの取付け



- ①付属のLスパナを使い、本体のペダル装着部のボルトを外します。
- ②外したボルトを使い、図のように変速ペダル本体に取付けます。

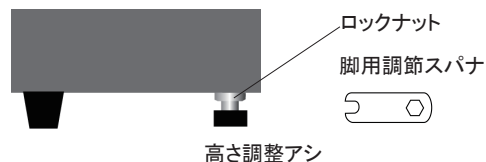
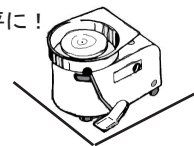
■据付

注意事項



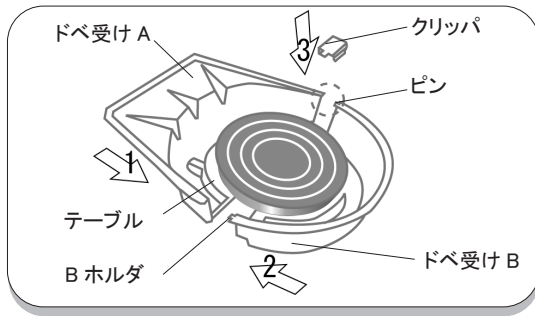
水平で安定したところに据付ける。

据付け状態が悪いと、水平に！
振動や騒音が増大される恐れがあります。
確実に据付けてください。



- ①据付け場所はコンクリート床が理想的です。
木張りの床は振動や音が大きくなることがありますのでご注意ください。
- ②付属の脚用調整スパナでロックナットを緩めて、高さ調整脚を回し、ろくろにがたつきがないようにしてください。調整が終わったらロックナットを締め付けます。


ドベ受けの取付け



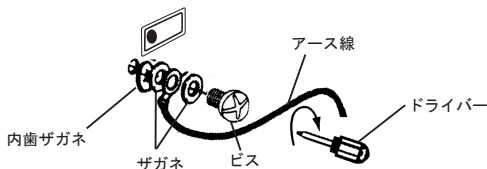
- ①ドベ受け A を B ホルダの下部に切りこんである溝に差し込みます。
- ②ドベ受け B を B ホルダの溝に差し込みます。このとき、ピンをドベ受け A のフチに入れてください。
- ③クリップでドベ受け A と B を固定します (2箇所)。
※クリップは紛失しないように気をつけてください。

アースの取付け

注意事項

 感電防止のため、必ずアース線を取付けてください。

アース線は本体側面のアース線取付け部に接続してください。



アースはアース付コンセントのアース端子に接続するか、アース棒を使用し地面に埋めてください。

- 接地工事は電気工事店へ依頼してください(有料)。


注意

次の場所にはアース線を接続しないでください。

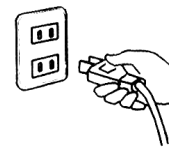
- ・ガス管 (引火や爆発の恐れがあります)
- ・水道管

電源の接続

注意事項

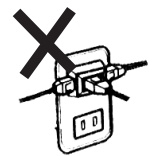
 指定された電圧と周波数以外では使用しない。


指定の電圧を確認し電源プラグをコンセントに差し込んでください。



 タコ足配線はしない。

同一コンセントで、他の電気器具の電源に使用すると、過電流が流れ、熱をもち火災の恐れがあります。




 電源スイッチが ON の状態で電源プラグをコンセントに差し込まない。

発火・感電の原因になります。

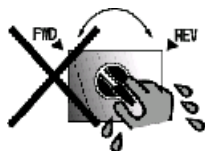
ご使用方法


運転

注意事項

 スイッチ操作は、濡れた手でしないでください。

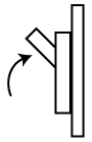
濡れた手でスイッチ操作をすると、感電の恐れがあります。



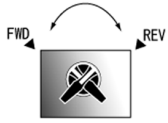
 電源スイッチを切る際には、必ず変速ペダルを STOP の位置に戻してください。

変速ペダルが STOP の位置にないまま電源スイッチを切ると、次回使用時に電源スイッチを入れてもテーブルが回転しないことがあります。また、誤作動および故障の原因にもなります。

■ 始動



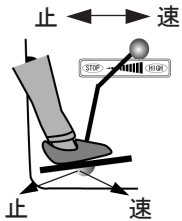
①電源スイッチを入れます。



②希望の回転方向に切換えスイッチを入れます。

FWD・・・右回転

REV・・・左回転



③変速ペダルを停止位置から踏み込むとテーブルが回転します。

※ 変速ペダルを踏み込むほどテーブルは速く回り、戻すと遅くなります。さらにいっぱいに戻すと停止します。

■ こんなときは

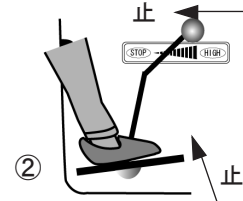
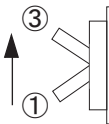
ターンテーブルが回転しなくなったとき

ターンテーブルに過負荷がかかった場合、安全のためモーターが停止し、変速ペダルでの変速操作ができなくなります。

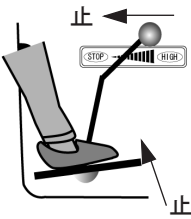


このような場合には、電源スイッチを一旦 OFF にすることでリセットがかかり、もとの状態に戻ります。

- ①モーターが停止した状態から
- ②変速ペダルを「停止」の位置に戻し
- ③電源スイッチを ON にし、ご使用ください。



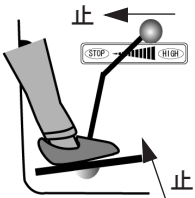
■ 停止



①変速ペダルをいっぱいまで戻すと (STOP の位置まで) 停止します。

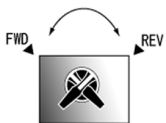
②電源スイッチを OFF にします。

■ 回転方向の切換え



①変速ペダルをいっぱいまで戻して (STOP の位置まで) 停止させます。

回転中に回転方向切換えスイッチを逆回転側に切換えてもターンテーブルは逆回転しません。



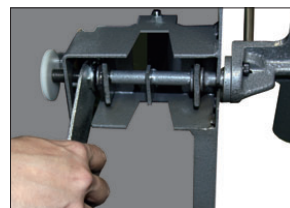
②回転方向切換えスイッチで切換えます。

■ ペダル固さの調整

長期間使用されているとペダルが固く又は緩くなる場合があります。このような場合は以下の方法でペダル固さを調整してください。



- ①電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。
- ②付属のスパナで脚とカバーを取外してください。



- ③ペダル軸部のナットを付属のスパナで回し、ペダル固さを調整してください。調整後カバーと脚を取付けてください。

※ その他の部品には触れないでください。不具合の原因となります。

保守

掃除・点検・調整・交換時の注意



電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

掃除・点検・調整・交換の場合や長期間ご使用にならない場合は、電源スイッチを切るだけでなく電源プラグをコンセントから抜いてください。



水洗い厳禁

1. ろろろ自体の清掃は布で拭くようにして、水洗いは避けてください。
2. ドベ受けは水洗いできますが、必ずろろろから外してください。



症状 ターンテーブルが回転しない

原因

- 電源プラグをコンセントに正しく接続していますか？
- 電源スイッチを ON にする時、変速ペダルは停止位置にありましたか？
- 複数台使用していませんか？

対策

- 正しく接続してください。
- 変速ペダルを停止位置に戻してからお使いください（5 ページ）。
- 分電盤のブレーカーが落ちていないか確認してください。

症状 回転時に本体から異常音がする。

原因

- 安定した場所に本体を設置していますか？
- 粘土の量が多すぎませんか？
- 取付け脚が緩んでいませんか？
- 変速ペダルの取付けが緩んでいませんか？
- 粘土をターンテーブルの中心に載せていますか？

対策

- 高さ調節脚を調整し、本体を安定させてください。
- 本機は過負荷保護機能が付き、過負荷状態では、異常な音が発生します。粘土の量を減らしてください。
- 高さ調節脚が緩んでいると、本体が振動し、異常な音が発生することがあります。
- 付属のLスパナで緩みがないように指定箇所にボルトを2つ締めてください（3 ページ）。
- 粘土が中心に乗っていないと、回転が不安定になり、ろくろ本体が振動し、異常音が発生しますので、粘土を中心に載せてください。

症状 ターンテーブルが回転中に停止する。

原因

- 粘土を載せたまま変速ペダルを急激に動かしていませんか？
- 長時間粘土を載せた状態で回転させていませんか？
- 電源プラグが抜けていませんか？
- 本体の電源スイッチが OFF になっていませんか？

対策

- 本機は過負荷保護機能により回転を停止することがあります。電源スイッチを一旦 OFF にし、変速ペダルを停止位置に戻してから電源スイッチを ON にしてください（5 ページ）。
- 本機は温度保護機能により回転を停止することがあります。電源スイッチを一旦 OFF にし、温度が下がるまで待ってから再度使用してください。
- 電源プラグをコンセントに正しく接続してください。
- 変速ペダルを停止位置に戻し、再度電源スイッチを ON にしてください。再度電源スイッチが OFF になるようであれば、電源プラグを抜き、販売店または当社へお問合せください。

症状 ターンテーブルの回転が逆方向に切換わらない。

原因

- ターンテーブル回転中に切換えスイッチを変更していませんか？

対策

- ターンテーブルが完全に停止してから、切換えスイッチを操作してください（5 ページ）。

※上記の対策で改善されない場合やその他のトラブルに関しては、販売店または当社へお問合せください。

仕様

機種	RK-3D
モートル	400W AC100V
ターンテーブル回転数	50/60Hz : 0 ~ 250rpm
駆動機構	ダイレクトドライブ式モータ
変速機構	レバー付変速ペダル
ターンテーブル回転方向	スイッチ切換えで右回転、左回転いずれも可能
手ろくろとして使用	0 回転で可能
ターンテーブル	軽合金鋳物 径 300mm
外形寸法	幅 525 × 奥行 582 × 高 515 mm
質量	45kg

ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンボ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました